

令和7年度 子宮頸がん検診受診票

43

ナンバリング

住 所	〒		受診日	令和 7 年	月	日		
カナ氏名						性 別		
氏 名								
生 年 月 日								
年度末年齢								
電 話 番 号								
東金市子宮頸がん集団検診受診歴	14 ☐	初めて もしくは4年以上前	15 ☐	1年前(※) (R 6年度)	16 ☐	2年前(※) (R 5年度)	17 ☐	3年前(※) (R 4年度)
子宮頸がん検診精密検査受診歴	18 ☐	なし	19 ☐	1年前(※) (R 6年度)	20 ☐	2年前(※) (R 5年度)	21 ☐	3年以上前(※) (R 4年度以前)

問診事項 ※裏面を必ずお読みください。

(※) 受診した全ての年にチェックを入れてください。

以下の太線枠内の問診事項で該当する ☐ に数字あるいは“レ”を付け、カッコ内はご記入ください。

(集検許可 あり・なし)

※ご記入に際しての注意点 黒のボールペンを使用してください。

1. 子宮がん(子宮頸がん)検診は腔鏡を使用して行います。性経験に関する情報が大切ですのでお伺いします。

性経験 53 ☐ 有 ➡ 妊娠または妊娠の可能性がありますか? 89 ☐ 無 88 ☐ 有 ➡ 医療機関で受診してください
54 ☐ 無 ➡ 該当の方は以下の事項を記入せず、裏面の注意事項「5」をよくお読みください

2. 今までの様子

子宮全摘出 ☐ 無 31 ☐ 有 ➡ 裏面の注意事項「6」をお読み下さい。※医療機関での受診をお勧めします。

・初めての生理の年齢 24 ☐ 歳 ・出産回数 22 ☐ 回 ・最後の出産年齢 25 ☐ 歳 ・帝王切開 26 ☐ 回

・子宮・卵巣の病気をしたことがありますか? 30 ☐ いいえ 29 ☐ はい ➡ (歳)(病名)

・現在ホルモン剤を使用していますか? 33 ☐ いいえ 32 ☐ はい ➡ 薬剤名()

・現在避妊リングを使用していますか? 28 ☐ いいえ 27 ☐ はい

・子宮頸がん予防ワクチンの接種を受けましたか? 130 ☐ いいえ 131 ☐ はい ➡ 132 ☐ 歳

3. 生理の状況

現在、生理は 40 ☐ ある ➡ 42 ☐ 順調 43 ☐ 不順) 44 ☐ 現在生理中(月 日から)
最後の生理 (46 ☐ 月 47 ☐ 日から 48 ☐ 日間)
41 ☐ ない ➡ 49 ☐ 閉経(歳) ※生理が1年以上ない場合
52 ☐ 出産後(ケ月)

4. 6ヶ月以内に生理以外の出血、またはチョコレート色のおりものがありましたか?

34 ☐ はい ➡ 医療機関で受診してください
35 ☐ いいえ

5. 血縁者で子宮がんと診断された方はいますか 136 ☐ なし 137 ☐ 母 138 ☐ 祖母 139 ☐ 姉妹 140 ☐ その他()

以下の欄は記入しないでください (医師記入欄)

所 見	56 ☐ 内腔出血 57 ☐ 擦過時出血 その他 62 ☐ 腔断端 頸管内 (☐ 採取 ☐ 不可)	81 ☐ 精検不要
ビラン	☐ なし 59 ☐ 軽 60 ☐ 中 61 ☐ 高 ポリープ 63 ☐ 小 64 ☐ 中 65 ☐ 大	82 ☐ 要精密検査 (頸部)
細胞診結果	細胞診結果 適否 ☐ 不適正 123 ☐ 理由 1.細胞少数 2.不明瞭標本 3.その他 118 ☐ AGC ☐ AIS ☐ AdCa ☐ その他 119 ☐ Other 117 ☐ NILM ☐ ASC-US ☐ ASC-H ☐ LSIL ☐ HSIL ☐ SCC 78 ☐ カンジダ 79 ☐ トリコモナス 80 ☐ その他 ()	128 ☐ 要精密検査 (体部) 126 ☐ HPV検査/6ヶ月以内再検査 83 ☐ 判定困難 (要再検査)
体部	74 ☐ 陰性 75 ☐ 疑陽性 76 ☐ 陽性 77 ☐ 検体不良	129 ☐ 至急精検
HPV検査実施	☐ 125 ☐ 陰性 ☐ 陽性 体部検査実施 55 ☐ EM挿入不可 ☐	84 ☐ 近医受診 85 ☐ 医師の指示

スミア番号

:	:	:	:	:	:	:	:
---	---	---	---	---	---	---	---

標準字体

《良い例》

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

*裏面の注意事項等をよくお読みになり受診されますようお願いいたします。*氏名には必ずフリガナもご記入ください。

子宮頸がん検診の注意事項

1. スラックス（ズボン）の着用は避けてください。
スカートでお越しいただくか、スカートをご持参ください。
2. 受診3日前よりの膣洗浄は避けてください（入浴はさしつかえありません）。
3. 生理中でもさしつかえありませんが、極めて出血の多い時は避けてください。
4. 妊娠中の方は妊婦健康診査での検査をお願いします。
5. 性経験のない方の子宮頸がん検診について
子宮頸がんの発生は、性交渉によるHPV感染が原因と考えられています。検査時に腔鏡を使用することで、性経験のない方は損傷・出血などを生ずることがあり、治療が必要となる場合があります。従って検診車内での検診は不適切と考えられ、近くの医療機関への受診をお願いしております。
6. 集団検診での子宮がん（子宮頸がん）検診が不適当な方
 - ①子宮全摘出手術をされた方
 - ②現在、婦人科に通院中または経過観察中にあり、1年以内に子宮頸がん検査を受けた方
 - ③集団検診の結果、現在経過観察中である方
7. 避妊リング装着等の場合、当日医師の判断により細胞採取が出来ないこともあります。
8. 診察台の安全構造上、体重135kg以上の方はお受け頂くことはできません。
9. 検査に支障が出るためお子様はバスの中には入れません。お子様同伴の場合は、スタッフにお声がけください。

子宮頸がん検診について

1. 子宮頸がん検診は、厚生労働省の「がん検診の有効性評価に関する研究班」の報告で最も有効性が認められた、がん検診の一つです。
2. 細胞診による子宮がん（子宮頸がん）検診は、初期がんのみならず、がんに移行しやすい病変（前がん性病変・異形成）も検出しています。
3. 検診でがんを発見された方の大多数は、治療後元気に社会復帰しています。今後も検診を受診されることをお勧めします。